



2015 年度国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師 資格認定試験 が行われました



4 月 11 日・12 日の 2 日間、学院近くの試験会議にて本年度の国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師資格認定試験が行われました。本学院の通学・通信各コース卒業生、そして今回は大阪のロート製薬株式会社からの受験生(6 名)も参加し、計 8 科目の試験に挑み、そして見事合格されました(下記参照)。おめでとうございます!

2015 年度国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師資格認定試験 合格者一覧

(50 音字順、敬称略)

国際薬膳師・国際薬膳調理師【9 名】

宮城県 阿部詩乃 群馬県 池田博明 東京都 森裕美 西山睦美 塩川万理子 高木祐香
神奈川県 西田ヒロ子 大阪府 徳力早苗 兵庫県 市橋香澄

国際薬膳師【32 名】

福島県 高木智子 東京都 岩倉渚 北林愛里 小島恵理子 高木明子 野本佳代子
神奈川県 小崎加絵 鳥飼えり 山本由美子 千葉県 佐川万里子 多田順子 谷陽子
愛知県 松橋佳奈子 長野県 杉村和江 吉岡恵子
大阪府 上坪孝清 近藤亜紀 竹下里佳 西原一恵 橋本千登恵
兵庫県 飯田さとみ 小国由美子 小泉しず 橋上由香理 廣本志津枝
岐阜県 佐久間春美 奈良県 山下典子 香川県 藤本悦子
愛媛県 那須晶子 福岡県 岡本真理子 大分県 加藤昌美 海外 中津恭子

国際薬膳士【2 名】

東京都 池上初枝 大阪府 氏家陽子



2015 年 4 月 中医薬膳師コース 東京校(土日・平日コース)に加え、 大阪教室・福岡教室 も開講いたしました!

今年の春からの新規開講を目指し、学生募集いたしました本学院の**大阪教室**と**福岡教室**が、この度無事に開講を迎えました。

4 月の開講当日、大阪教室には 10 名、そして福岡教室では 6 名の新生入生が、真摯に先生の講義に耳を傾けておりました。

【大阪教室】第 3 水・木曜日(2015 年 4 月～2016 年 2 月)

【福岡教室】第 2 木・金曜日(2015 年 4 月～2016 年 2 月)



授業風景(上:福岡教室、実習
左:大阪教室、講義)

2015年春期卒業式・中医薬膳師資格認定式

2015年3月29日(日)
東京 虎ノ門

2015年3月29日、虎ノ門にある中華料理店にて本年度春期卒業式並びに中医薬膳師資格認定式が行われました。

出席されました第21期中医薬膳師(平日・土日)コース卒業生、そして通信教育コース修了生、総勢20名と講師・スタッフとで、終始和気あいあいとした雰囲気となりました。



第21期中医薬膳師平日コース 池田 博明

答 辞

本日は私達、第21期卒業生のために、このような心のこもった素晴らしい式典を挙げていただき、まことに有難うございます。またご多忙の中をご出席下さいました御来賓の皆様、先生方、並びに関係者の皆様に、卒業生一同心から御礼申し上げます。

卒業を迎える今日、この一年間を思い返せば、ただがむしゃらに授業に出て、ノートに書き写し、家では教科書を見ながらその内容に四苦八苦ししながら宿題をこなしていた、というのが率直な感想です。

今まで持っていた知識や考え方がまるで通じなく、自分が本当に理解しているのかも分からず、不安になりながらも通学し、それまでの考え方を崩しては新しい知識を積み上げ、また崩しては新しい考え方を学ぶ、それはまるで積み木のような感覚でした。

実習では料理を通じて薬膳というものを五感で感じ、初めて扱う中薬や食材、調理方法に一喜一憂しながらも、仲間達といっしょに作った料理は本当に楽しかったです。なかでもスポンの料理は特に印象に残っています。

しかし、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうもので、いつの間にか授業が終わり、あらためて教科書やノートを見直してみると、今まで学んだばらばらに散らばっていた知識が、一つ一つまるでパズルのようにはまっていくのを感じたときに、この一年間の頑張りが報われていると実感でき、感慨深くなりました。

私たちが薬膳を学ぼうと思った理由は様々です。自分自身を初め、家族や友人などの健康の為、仕事の幅を広げるため、どのような学問や料理なのか興味を持ったからなどそれぞれですが、この一年間を通じて学んできたことは必ずや今後生かされると思います。

そしてこれまで頑張れたのも、一緒に学んだ仲間達がいたことはもちろんのこと、家族や友人の応援や支え、そして何より、ささいな疑問、質問にも、いつも笑顔で真剣に答えてくださった、やさしい先生方やスタッフの皆様のおかげなんだと、卒業を迎えるこの日、あらためて感じています。

先生方、スタッフの皆様、今日まで本当にありがとうございました。

しかし、まだ私たちは中医薬膳学の入り口からほんの少し歩いただけに過ぎません。卒業後、さらなる高みを目指し学校に残る方、今後の仕事に生かす方、家族や友人のために学んだ知識を生かす方などそれぞれの道、やり方で今後も薬膳に関わって行くことと思います。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

本日は、本当に有難うございました。
皆様方のご活躍をお祈りし、御礼の言葉とさせていただきます。



2015年春期卒業生 一覧

内、『中医薬膳師』資格取得者 46名

【50音字、敬称略】

第21期平日コース【9名】

池田博明 岩倉渚 塩川万理子 難波馨 西山睦美 野本佳代子 多田順子 森裕美 山本由美子

第21期土日コース【10名】

北林愛里 小島恵理子 佐川万里子 高木明子 高木祐香 谷陽子 鳥飼えり 西原一恵 藤本悦子 湯浅依里子

通信教育コース【28名】

青柳妙子 荒井智香子 石田恵莉 市橋香澄 氏家陽子 大西理恵 岡本真理子 小国由美子 梶田みどり
幸田久美子 佐川利佳子 佐久間春美 島本はるみ 杉村和江 田中将隆 中津恭子 中東典子 中山愛梨
那須晶子 西田ヒロ子 野澤崇志 橋本千登恵 廣本志津枝 細川百恵
村田味菜子 山田文代 吉岡恵子 由川洋子

祝 辞

本草薬膳学院講師 青木 早苗

春分も過ぎ、桜の蕾も膨らみかけた頃、本日はご卒業おめでとうございます。
皆さんは色々な思いを胸に、本草薬膳学院に入学され、またたく間に過ぎた1年間だったのではないのでしょうか？

中国医学、薬膳という初めての学問に触れ、難解な言葉、意味、漢字の読み方、独特な理論など理解するのに大変な苦労であったでしょう。仕事や子育て、家事などをこなしながら、一所懸命に勉強し、それを乗り越えての卒業式、晴れやかな気持ちでお迎えのことと思います。
また、1年の間に中国医学薬膳の奥深い内容に戸惑いながらも、その魅力に引き込まれ、より深く勉強したいと思いを新たにしているのではないのでしょうか？

本草薬膳学院は今年度から大阪、福岡にも教室を新設し、中国医学薬膳を全国的に普及し、薬膳の専門家をに力をいれていきます。

また、学院長はじめ皆さんの先輩達による薬膳レシピの本がどんどん世の中に出ていき、中国医学薬膳を広める機会が増えてきました。これからも共に学び、薬膳のスペシャリストとして誇りを持って、様々な方面で中国医学薬膳を伝え広め、活躍される事を心より願っております。

本日はおめでとうございます。



御卒業おめでとうございます！



卒業生の皆さんへ



本草薬膳学院講師 平尾 安基子

本日はご卒業おめでとございます。

仕事や家事やご家族のお世話などにお忙しい中、通学生の皆さんは時間を割いて月に2日間通って来られ、また、通信生の皆さんは強い意志で自宅学習を続けてこられたこと、本当によくがんばりましたね。そして卒業を迎えるにはご家族や周りの方々の支えがあったからこそと思います。

社会人になってからの勉強は時間が取れず大変だったと思いますが、だからこそ本当に興味があること、必要だと思ふことを学べるのではないのでしょうか？そして皆さんは食と健康について学んでみたいという意思を持って本草薬膳学院を選ばれたのだと思います。

中国唐代(640年頃)の皇帝太宗が自ら撰し、皇太子(後の高宗)に授けた帝王としての訓戒の書で『帝範』というものがあります。その第一編「務農」の一節に

“夫食為人天、農為國本”(それ食は人の天たり、農は国のもとたり。)という言葉があります。

食は天の如く重要なものだ。と説いています。この時代は民のお腹を満たすことが皇帝として何より重要だと言いたかったのでしよう。

それから、時代が下って鎌倉時代の末期(1330年頃)、吉田兼好も『帝範』を引用し、徒然草 第二百二十二段 に食は、人の天なり。よく味はひを調へ知れる人、大きな徳とすべし。とあります。

食は天の如く重要なものだ。美味しい料理を作る人は、大きな徳を持っていると言っています。

料理は調理とも言いますが、もともと調理という言葉は道理や理(ことわり)に則って調えるということです。季節や環境、年齢や体質、病気の道理を明らかにし、体を調べて健康にする薬膳師もまた徳を持っているということではないでしょうか？

薬膳は奥が深く、私たちが大きな徳を持つまでにはまだまだ長い道のりでしょうけれども、これまで学んだことを今まで支えてくれた周りの皆さんと分かち合えるスタートとしていきましょう。

簡単ではありますが、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとございました。



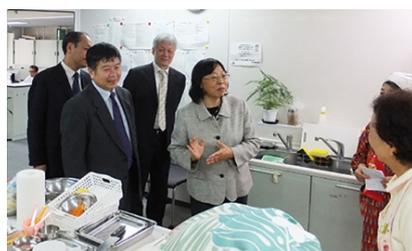
河南中医学院教授 本学院を訪問

2015年3月17日、中国の河南中医学院の校務委員会主席の孙建中教授、国际合作処の孙可兴处长、第二附属医院の王海亮副院长、学長事務室の孟林副主任の4人の来賓が本学院を訪問しました。

河南中医学院は1958年に創立され、医聖と称される『傷寒雜病論』の著者である張仲景の故郷であり、中華民族の一つ発祥地に位置をしているので、古くから中薬が豊富で、中医の名家が多く輩出しています。

2010年本学院は河南中医学院と學術提携協議を交わしてから、中国の薬膳旅に河南中医学院を訪問し、本校の10周年記念行事に河南中医学院の来賓が参加しました。

今回の訪問は両校のこの4~5年の発展について互いに紹介し、中国と日本の薬膳の現状と今後の交流・発展について意見交換を行い両校の更なる交流や薬膳の普及を目的とした正式契約を締結しました。



当日は教室で新書籍の撮影がありましたので、来賓の先生方は撮影を見学されておりました。

連載 特別講座回顧録 ①-4「中国医書の歴史を観る」



本学院が過去に開講致しました特別講座・公開講座をピックアップして振り返ります。

2013年3月11日から4回にかけて行われました
安部郁子先生の特別講座「中国医書の歴史を観る」最終回です。

7. 歴代の学者が注釈した重要な医学書『黄帝八十一難経』

戦国時代から秦漢にかけての独創的な理論集『難経』

1) 張山雷(1872-1934)は『難経解説』南京中医学院編の中で各人が専門について述べたもので、一時代の一人の筆によるものではない、という説を支持している。

2) 注釈が多い書

①中国(三国時代の呉から清代まで): 呂広、楊玄操、丁徳用、虞庶、周仲立、龐安時、紀天錫、張元素、袁淳甫、謝堅白、滑白仁、張天成、虞天民、徐靈胎、丁履中、黃坤載

②日本:『難経本義抄』『難経捷徑』(寿徳庵玄由)、『難経抄』(不明)、『黄帝八十一難経疏証』(多紀元胤)

8. 脈を切り口にして治療法を伝える総合医学書

曹操の太医令、王叔和が諸家の要訣をまとめた書『脈経』

1) 王叔和自序に 岐伯から華佗に至る諸家の経論の要訣を採集し、百病の根源を類例に従って分かち、さらに諸家所伝の異同もことごとく載録した、とある。

2) 王叔和は散逸しかけていた張仲景の書をまとめ、現在の『傷寒論』『金匱要略』となる書物にした、と伝えられている。

3) 現在の『脈経』は宋の林億らが校正したものから出ている。大きくいえば、広西漕司本(1209年)と何大任本(1217年)の2系統がある。

9. 歌にして医学知識をまとめた脈論の書

元代 張道中の『玄白子正派脈訣』が原型『脈訣』

1) 宋初の頃、いろいろな脈訣があった。『黄帝脈訣』『元門脈訣』『碎金脈訣』『黃氏脈訣』などある中、最も流行したのは『王叔和脈訣』。但し、王叔和の撰ではなく、高陽生という人物の作。

2) 日本で出版された脈訣

①『紫虚崔真人脈訣秘旨』崔嘉彦 撰

②『紫虚崔真人脈訣秘旨』が原書であるが、原書には歌訣はなく、附録の元・張道中『玄白子正派脈訣』の中に『脈訣』と同じ文がある。この張道中の脈訣が李杲に仮託され、『東垣十書』や『医統脈訣』に入っていた。

3) 脈論の参考書『中医脈学と瀕湖脈学』『診家樞要』

講師 安部郁子(あべいくこ)先生のプロフィール

1981年 早稲田大学第一文学部文芸科卒業

2005年より現職

公益財団法人研医会 研医会図書館館長 研究員

お知らせ

研究科 通信教育コース 開講決定いたしました！

本年度、本学院ではかねてより多くの卒業生・在校生より御要望の高かった、**研究科通信教育コース**を開始することを決定いたしました。

現在『基礎研究科』と『臨床内科研究科』の開講の準備を進めております。

※その他のカリキュラムに関しては、本年中に順次開講予定です。

学習内容(予定)

中医基礎学・方剤学・中医内科学・中医婦人科学・中医外科学・中医小児科学

研究科通学コースと同様の授業内容を受講できますので、将来的に国際中医師の資格までお考えの方にも是非お勧めです。

学習期間、費用等詳細は、確定次第 HP やDMにてお知らせ致します。





本草薬膳学院 教員室 第7回目

市川 賢二郎先生

本学院第3期卒業生 中医薬膳師
国際薬膳師、国際中医師
秋期土日コース学科担当

中医薬膳師土日コース【秋開校】の理論篇を担当しています。

薬膳とは食卓の“東洋哲学”であるといつも思っています。とても簡単には攻略しにくい学問です。特に全体感・自然感というものの見方が中心になるので、すぐさま答えを出すのが難しいものであり、単一的な回答を出せない学問ではないでしょうか。だからこそ面白く魅力的なものだと思っています。たとへば、生姜が嘔吐に良いとか百合根が咳き止めに良いとかなどの効能だけでなく、健康という全体像に対して食物と食物を組み合わせる方法と調理法。それらの関連性の中に相乗効果を見つける経験と模索、時間と場と人間のからみに食物をどう交差させていくかを予測する事。このような考え方が薬膳には必要です。

体も同じで、各臓腑も単独に働いているのではなく、相互の関連性の中でそれぞれの役割をはたしているのです。ある部分の障害は全体への影響を生み、表面の反応は内部の事情を反映している。これらの考え方は中医独特の考え方です。

さらに、自然界も一定の法則で運行されているのに気づく。そうです、東洋思想の根源は、この大自然の法則性に照らしあうことで、自然の一部である人間を探知しようとする事なのです。自然界の移り変わりに我々は深く影響を受けて毎日を過ごしています。季節の足音を心で感じながら生きていくことの大切さを私は今後も伝えたいと思っています。



2015 年秋期

中医薬膳師コース 学生募集

◆ 中医薬膳師 土日コース【第3土・日曜日】

2015 年 10 月 17 日(土)開講予定

場所: 東京校

理論講義: 10:00~12:00

講義と調理実習: 13:00~16:00

(昼休み 30 分~1 時間)

◆ 中医薬膳師 通信教育コース

随時、入学を受け付けております。

是非、お知り合いの方をご紹介ください!

※ ご紹介頂いた方が通学コースに入学されました場合、些少なながら謝礼いたします

お詫び

7 月に開講予定の特別講座『薬膳中華料理講座(講師 山岡 洋先生)』の日程が一部変更となりました。

【変更前】 4 回目: 2015 年 10 月 26 日(月)

申し込み締切日: 2015 年 10 月 19 日(月)



【変更後】 4 回目: 2015 年 10 月 19 日(月)

申し込み締切日: 2015 年 10 月 13 日(火)

なお、開始時刻、会場、内容及び他の日程に変更は
ございません。受講を検討されております方は、ご注
意頂きますようお願いいたします。

本草薬膳学院



- ◆ 「本草つうしん」は HP(ホームページ)内にて創刊号~最新号(48号)までカラー版をダウンロード出来ます。
- ◆ HP、ブログ等を持っている方で、本草薬膳学院の HP にリンクを貼りたい方は学院までご連絡ください。(但し、HP やブログの内容によってはリンク出来ない場合がありますので予めご了承下さい。)

本草薬膳学院 HP <http://www.honzou.jp/>